

富山
・
黒部



星野富弘
花の詩画展

私にできることは
小さなことば
感謝して
できると
大きなことば



小さな実(ぐみ)©Tomihiro Hoshino

2026

5/9 土 → 5/24 日 休館日 5/13(水)・20(水)

黒部市国際文化センター コラーレ(展示室1.2)

開場時間 | 10:00 - 17:00 入場料 | 前売り500円、当日600円 中学生以下無料
(入場は16:30まで) ◆この展覧会は黒部市の助成により低料金でお楽しみいただけます

主催 | 公益財団法人黒部市国際文化センター

後援: 黒部市/黒部市教育委員会/北日本新聞社
特別協力: 富弘美術館
協力: (株)偕成社/(株)Gakken/いのちのことば社
グロリア・アーツ(株)/(一社)樹脂粘土 野の花・野草アート協会
富弘美術館を囲む会東京・神奈川支部, 東京・三田支部, 軽井沢支部



会場ウェブサイト



公式ライン



同時展示
樹脂粘土 野の花・野草アート

ごあいさつ

自然豊かなこの黒部の地で、星野富弘「花の詩画展」を再び開催できることを、心からうれしく思います。

星野富弘氏は、事故により身体を自由を失いながらも、口に筆をくわえて詩画を描き続け、希望と感動を多くの方に届けてこられました。その作品は学校の教科書にも掲載され、長く親しまれてきています。花や草木、小さな命のひとつひとつに向けられたあたたかなまなざしと、生きることへの深い想いが、詩や絵にやさしく込められています。

ときには思わず微笑んでしまうような言葉や、心がふっと軽くなる表現に、励まされた経験のある方もいらっしゃるでしょう。星野さんの作品は、今もなお、私たちのそばで静かに語りかけてくれています。

本展を通して、皆さまが星野さんの世界に触れ、心温まるひとときを過ごしていただけたら幸いです。ここで出会った言葉や絵が、これからの日々を支える小さな力となることを願っております。

公益財団法人黒部市国際文化センター 理事長 大橋聡司



たんぽぽ©Tomihiko Hoshino

星野 富弘 プロフィール



1946年 群馬県に生まれる。

1970年 体育の教諭になるが、クラブ活動の指導中頸髄損傷、手足の自由を失う。

1972年 口に筆をくわえて詩や絵を書き始める。

1981年~ 雑誌や新聞に詩画作品やエッセイの連載を開始。

1982年 高崎で「花の詩画展」開催。以後、全国各地で「花の詩画展」を開催。

1991年 群馬県勢多郡東村(現みどり市)に村立富弘美術館開館。

1994年~ ニューヨーク・ハワイ・サンフランシスコ・ワルシャワなど海外でも「花の詩画展」を開催。

2005年 (新) 富弘美術館開館。

2021年 富弘美術館開館30周年。富弘美術館の入館者数が700万人を超える。

2024年 逝去。みどり市名誉市民(第一号)の称号を贈られる。

詩画や随筆は教科書にも掲載され、全国で「花の詩画展」を開催した。著書多数。

◆イベントのお知らせ

5/16日

開催記念イベント
ギャラリートーク

①11:00~

富弘美術館学芸員によるギャラリートークを開催いたします。詩画の世界を解説し、ギャラリートークでしか聞けないエピソードなどもご紹介します！(予約不要、直接会場にお越しください)

②14:00~

講師：相崎 ちひろ (富弘美術館学芸員)
場所：展示室内
料金：無料(別途入場料がかかります)

◆ミュージアムショップのご案内

星野富弘の書籍やグッズ、会場限定商品も多数そろえています。



ぜひお立ち寄りください。

◆会場のご案内



黒部市国際文化センターカラーレ

〒938-0031

富山県黒部市三日市20番地

〈開館時間〉 9:00~22:30 (土曜~23:00)

※詩画展会場への入場は10:00~17:00

〈休館日〉 毎週水曜日 (祝祭日の場合は開館)

〈お問合せ〉 黒部市国際文化センター カラーレ

Tel.0765-57-1201

会場ウェブサイト

黒部市国際文化センターカラーレ



<https://www.colare.jp/>



会場ウェブサイト



公式フイン